

仏教からみた環境

仏教の理解する世界と自己
空一本質の欠如
環境のとらえかた

環境三四郎

(大学院人文社会系研究科)

下田正弘

2010/11/09

目次

- 仏教の理解する世界と自己
- 空一本質の欠如
- 環境のとらえかた

仏教の理解する世界と自己

- 個は二次的なもの
 - 身体に閉ざした意識の非本来性
- 世界はすべて意識のみ（唯識）
- 意識の三階層
 - 知覚、自我意識、集合的無意識
 - （五感・意識、マナ識、アースヤ識）

空一本質の欠如

- 言語、意識、存在の三極の連関
- 三極分化以前の究極的存在
- 空一個々の存在の本質の欠如
- ことばと時間（輪廻の世界観）

環境のとらえかた

- 生物・無生物・あらゆるものの輪廻
- 人間の位置（向上の能力と配慮）
- 業の影響、自然との共生
- 自然と文明への理解
- 不害（アヒンサー）、家畜、肉食
- 害虫駆除、動物実験、動物保護
- 環境保護、供養